

# Rethinking Representations of Asian Women

【報告者（発表順）】 【使用言語：日本語】

櫻田涼子 / 加藤敦典 / 中川加奈子  
（育英短期大学准教授） （東京大学特任講師） （日本学術振興会特別研究 PD）

伊地知紀子 / 瀬戸徐映里奈 / 林徳仁  
（大阪市立大学教授） （京大大学院博士後期課程） （京大大学院博士後期課程）

【日時】 2016年1月12日（火）  
14:00-17:30

【場所】 東京大学駒場キャンパス  
KIBER（旧6号館）314

【主催】 東京大学 EALAI / JSPH

【連絡先】 [contact@ealai.c.u-tokyo.ac.jp](mailto:contact@ealai.c.u-tokyo.ac.jp)

詳しいプログラムは「EALAI」のHP、または  
右のQRコードを読み取ってアクセスして下さい



アジアにおける帝国主義、植民地主義、冷戦構造、および近年の人口流動とグローバル化の諸相をあきらかにするうえで「女性」をめぐる表象と生活実践に注目することはいくつかの重要な論点を提示する。今回のオープンセッションでは、2015年11月に刊行された Rethinking Representations of Asian Women: Changes, Continuity, and Everyday Life (Edited by Noriko Ijichi, Atsufumi Kato, Ryoko Sakurada. New York: Palgrave Macmillan, 2015) の合評会を開催する。本論集は人類学と社会学と視点から、アジアの女性の表象の生産、流通、流用、複数化、およびそれらのイメージを再文脈化する女性たちの生活実践について、家族、移動、宗教・信仰、政治参加、社会主義などのテーマに沿って議論を展開している。アジア各地の事例（日本、台湾、韓国、北朝鮮、モンゴル、ベトナム、マレーシア、ネパール、パキスタン）を取り上げており、地域研究としても幅広い関心を引きおこすことが期待される。今回は執筆者のうち6名が集まり、各章の解説をおこなうとともに、フロアを交えたディスカッションをおこなう。